



## 学校だより 8月号

## つなぐ



## 暑中お見舞い申し上げます

～ 時間を有効に使いたい！ ～

本格的な猛暑の時期を迎えました。この暑さはいつまで続くのでしょうか。今年の夏も長くなりそうです。梅雨の時期の雨量が少なかったため、水不足となっている地方があるようで、ダムの貯水率が0%というところもあります。早く恵みの雨がもたらされることを祈るばかりです。クーラーの効く部屋の中で過ごすという人がいるかもしれませんが、熱中症予防に努めつつ、たまには外に出ることも必要です。長期休暇で家にいる時間が長くなっているが多いでしょうが、生活リズムを考え、日ごろできないことに取り組むなど、日々の過ごし方を考えてみましょう。

ところで、夏休みが始まり2週間あまりが経過しましたが、この夏、生徒の皆さんはどのような過ごし方をしようと考え、取り組んでいますか？私は毎日、学校にいますと、部活動に励む生徒がいます。学校に普段通りに来て勉強に取り組んでいる人がいます。書類に目を通してと海外に積極的に語学研修に参加する人がいるようです。8月半ばには本校のある三島市では「三嶋大祭り」が開催されますが、地元のお祭りに参加しますという人がいるでしょう。そう授業が止まるこの時期、どのような形であれ、時間を有効に使おうと考えている人がいます。特別に何かをしているわけではないと思っている人もいるでしょうが、旅に出かけます、本を読みます、友人と映画館に行きます、家でお手伝いします、遠くの家族に会いに行きます、疲れたから家にいてのんびり過ごします、といった具合に人それぞれ様々な思いをもって過ごしているということは、まさに時間を有効に使おうと考えている証拠です。夏休みを前に教員は過ごし方として「宿題は早めに終わらせよう。」とか、「計画を立てて規則正しい生活をしましょう。」とか、生徒に声をかけます。確かに正しいことではあると思いますが、私なら「時間が止まるこの休みだからこそできることをしましょう。」と声をかけます。その理由は1日が24時間、1年が365日という時間は誰もが平等に与えられたものになります。しかし、人の一生を考えた時、人生における時間は平等ではありません。人には、生き物には寿命という限られた時間があります。また生きていく上での環境が異なります。限られたものがあるからこそ、中学生や高校生の皆さんには、時間の使い方についてそれぞれ考えて欲しいと私は思っています。

「今、行っていることは本当ムダだな。」何て思っていることも時が経てば「あの時こんなことをしてたな。」と思えば出話になることがあります。若い時にしかできないことに積極的にチャレンジして欲しいと私は願っています。もちろん、「君子危うきに近づかず」。事件や事故に巻き込まれるようなことはあってはいけませんが、時間を有効に使い、この時期にしかできないことに挑戦してみましょう。

生徒の皆さんは終業式で私が伝えたことが頭の中に残っていますか？判断する力を身につけようというテーマで、情報モラルの話を中心にSNSによるトラブルを避けるようお願いしました。世の中は様々な情報が氾濫しています。その情報が正しいか否かの判断は、大人だから子どもだからという理由で判断できないということはあってはならないこと、つまり常に危険性と隣合わせにあることを十分認識しながら情報に触れることやSNSでの発信の際には覚悟をもって十分気をつけるようお願いしました。自分の身は自分で守るのが現代社会の生き方になります。今回は情報モラルを例にあげましたが、様々な場面で物事を判断する機会があると思います。何をもって正解とするか難しいことがあります。生徒の皆さんは自分自身が納得できる、正しい選択肢をもって判断できる力を身につけるようにしましょう。